

山形県小国町の地域創生の現状

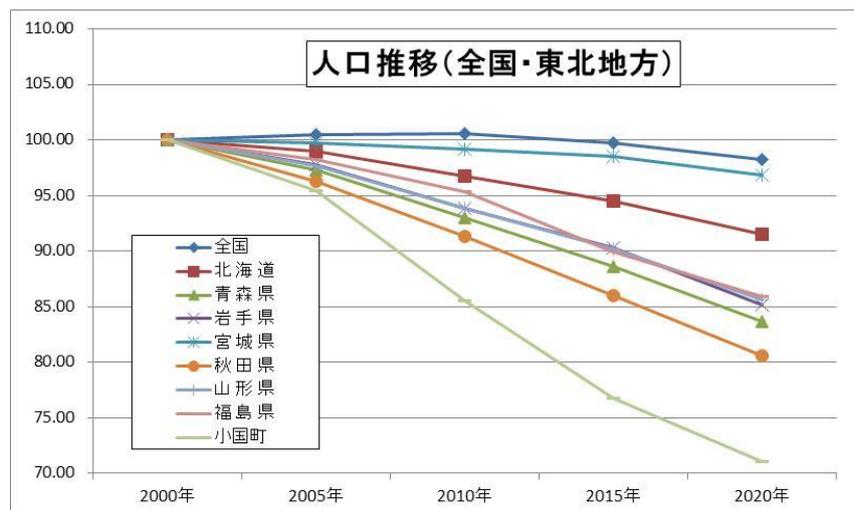
2023年7月

公益財団法人都市化研究公室理事長 光多長温

1. 小国町の概況

山形県小国町は、県西部（新潟県との県境）に位置する。交通は、秋田新幹線赤湯駅から車で約50分、飯豊山を背景にした風光明媚な景色と豊富な水、温泉等の資源はあるものの、経済財状況は芳しくない。

まず、人口であるが、全国、東北地方各県に比べても減少幅が大きい。1960年においては、17,787人であったが、減少を続け2000年以降、全国、東北各県に比べても減少幅は更に大きくなっており、2000年からの20年間で実に30%減しとなっている（2020年7,107人）。高齢化率も高く、また進展しており、2020年高齢化率は、40.6%（全国28.6%、山形県33.8%）となっている。

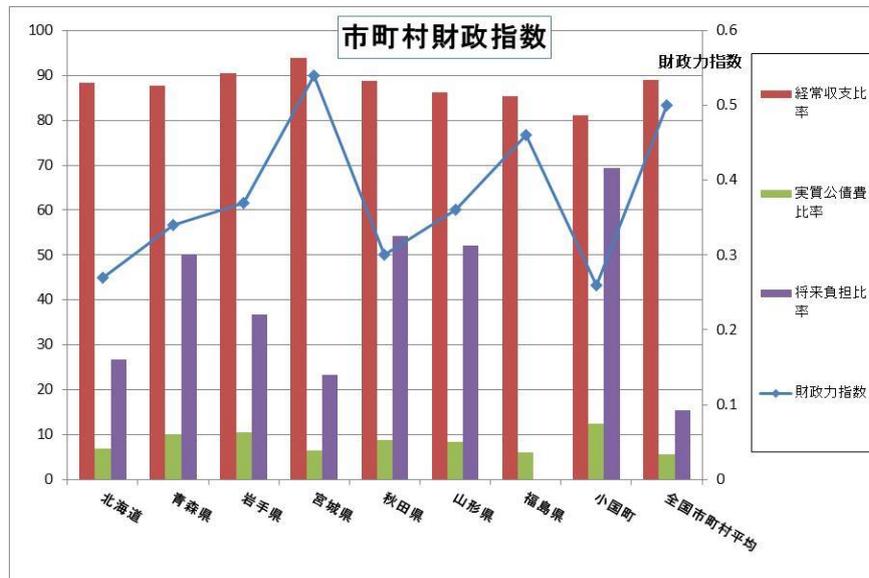


他方、小国町には、日本重化学工業小国事業所とクアーズテックの二つの工場があり、製造業就業比率は44%となっており、これの関連産業や家族を含めると町経済のほぼ80%がこれら二つの事業所に依存している。日本重化学工業は合金鉄技術を活かした電池材料、高純度金属を、クアーズテックは半導体関連製品を製造しており、二つの事業所とも小国町特有の豊富な水を活用した水力発電を保有しており、この町から退出する可能性は低く、町を支えているとも言える。

市の財政状況は芳しくない（経常収支比率¹80%、財政力指数²0.26）。臨時財政対策債を除いた地方債残高5,341百万円に対し、積立金はわずか100百万円で、正に綱渡りである。

¹ 地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当されたものが占める割合。

² 地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値。



町によると、上記の有力企業が立地しながら、町財政が厳しい（町税収入比率が低い）理由は、次の理由によるものとのことである。

- ①企業が、リーマンショック後の赤字を分散計上していた。
- ②平成 20 年後半に企業が設備投資を行っていたが、過疎地域のため固定資産税減免期間があった。

令和 3 年からは、町税収は増加しているものの、新型コロナウイルス感染症対策歳入の影響もあり、結果として町税割合は依然として低い。

決算額の推移	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4(概算)
町税	956,140	983,713	948,593	956,760	981,959	1,003,538	979,191	1,006,266	1,110,647	1,100,000
歳入合計	8,101,432	6,640,633	6,795,882	6,713,897	6,600,259	6,678,663	6,728,801	8,199,963	7,989,644	7,850,000
町税割合	11.8%	14.8%	14.0%	14.3%	14.9%	15.0%	14.6%	12.3%	13.9%	14.0%



農業就業者比率 8%と極めて低く、兼業農家、それも第 2 種兼業農家が多い(専業農家数: 15%、第 1 種兼業同 18%、第 2 種同 67%)。個人経営農家は、約 20 戸程度である(経営農家農地面積で最大のものは 20ha)。認定農業者は 30 程度であり、農業所得は、1 経営体当たり 800 万円、1 人当りでは 400 万円となっている。農地条件も恵まれているとは言えず、気候の関係で近隣長井市のようにさくらんぼは採取できず、10a あたりの収量も 480 kg と山形県平均 560 kg に比べ 15%程度低い。

2. 地域創生総合戦略計画

小国町では、総合計画の策定に合わせて地域創生総合戦略を策定し、これの検証を行っている。この中の KPI³は多岐にわたっている。出生者数、財政力指数、ゴミ排出量、事業所従業者数、等々である。これを地道に実施し、検証していることは評価されるが、いくつかの留意点を述べておきたい。

- (1) 多くの KPI が設定されているが、個別項目の軽重を更に明確にした方が望ましい。主たる KPI は居住人口ではないだろうか、これが見当たらない。出生者数とあるが、これを含めた居住人口がメインではないか。要するに多数の KPI の中での全体像を示すべきではないかと思う。
- (2) KPI が時代に即応していない面がある。策定されたのが令和 2 年で新型コロナ発生前なのでやむを得ないかも知れないが、健康・医療関連の KPI が設定されていない。要するに町の進む方向が明確になっていないのである。
- (3) 評価は、事実のみを述べているケースが多い。どのように取組み、何が壁であったか、何がプラスに貢献したかの分析が充分行われていない。
- (4) なお、移住者数(年間フロー)が令和元年年 49 人、令和 3 年 62 名の実績(令和 6 年目標 55 人)となっている。これは町の規模からすると大きな成果と考えられるが、(個人情報の問題であり制約があるかも知れないが)内訳の説明がほしい。他市町の励みになる可能性もある。なお、移住者用のアパートや空き家が不足しているとのことであるが、これは最重要課題であるので町で率先して手当てすべきことであろう。

3. 最近の動き

最近明暗二つの動きがある。いずれも町の将来を左右することなので、適切な対応が望まれる。

(1) JR 米坂線不通

米坂線は、令和 4 年 8 月の豪雨で鉄橋が崩落する等の甚大な被害を受け、今泉(長井市)～坂町(新潟県村上市)間 67.7 km が不通となっている。合計 112 か所で被害を受け、特に山形県内での被害が 68 か所と多く、そのほとんどが小国町である。飯豊町の小白河橋梁が崩落しており再開にはこれの普及が前提となる。JR 東日本はこれら全ての復旧工事に 86

³ Key Performance Index

億円を要すると推算しているが、折しも JR 東日本は不採算路線（1 kmあたり 1 日の平均利用者数《輸送密度》2,000 人未満路線）を公表しており、米坂線も含まれている。現在、代行輸送バスによる運行が続いているが極めて不便である。陸の孤島になり兼ねない。

そもそも、米坂線は従前より存続が危ぶまれていたものであり、今回の災害復旧費が多額に上っていること、例え、復旧したとしてもその後の採算改善は見込めないこと等から、今後の推移は要注意である。これまで、住民の車依存が増加し、鉄道利用対策を十分やって来なかった経緯もあるが、今回の事態に対し、住民は改めて鉄道がない街の危機感を抱いており、これを機に、住民と鉄道との関係を考え直す良い機会かも知れない⁴。

この中で、被災に遭った車両を新潟県に移動させることが決定された。（素人目から見ても）線路等鉄道基盤がかなり弱まっており、復旧は容易ではない。町では、町レベルで対応できる問題ではないとして、県・国に要望活動を行っており、6月26日に、吉村知事も、「鉄軌道整備法に基づく災害復旧補助制度を利用して、政府や自治体が費用の一部を負担することも考慮する必要がある」と述べている。しかし、何より、地元住民レベルが一丸となつての JR との共存に向けた自主的は事業の検討、具体的動きが望まれる。

(2) 民間団体によるコミュニティスペースの開設

札幌に本社を置く、グーニーズグループは、全国で事業開発、事業改善、DX 支援、システム開発、M&A 等のビジネスを行っているが、その事業の一つとして、小国町で酒蔵カフェ&飯豊山麓コワーキングスペースを開設した。2021年、後継者不在で経営危機にあった桜川酒蔵再建と併せて、隣地に町と国からの補助金（テレワーク補助金等）を活用して酒蔵カフェとコワーキングスペース「サクワガワカモスクエア」を開設、更に、2023年4月「カモスクエア」隣地の桜川酒蔵の酒蔵（さかぐら）の一部を改装し、滞在型施設「ヨイドコワン」を開設した。1階が案内、喫茶、販売スペース、2階がテレワーク等のコワ



⁴ 災害で被災したローカル鉄道の復旧に例では、2022年約11年ぶりに運行再開した JR 只見線（新潟県魚沼市～福島県会津若松市）の会津川口～只見間の場合、約90億円とされる費用を国、県と会津地方17市町村、JR 東日本が1/3ずつ負担し、更に設備を自治体等が取得し、鉄道会社が運営を担う上下分離方式が採用され、同区間の線路や駅舎を県が保有し、年3億円の線路維持費も県と会津17市町村が負担している。

また2018年に成立した改正鉄軌道整備法により、激甚災害等で被災したローカル線は、運行企業が赤字でも路線が赤字であれば国の補助を受けることができるようになった。2020年約4年ぶりに全線で運行再開した JR 九州豊肥線は、同法の適用を受け、総額約50億円の内、国と熊本県とが1/4ずつ、JR九州が残り1/2を負担した。

ーキングスペースとなっている。宿泊、日本酒の試飲、等を含めた 1.5 時間の酒蔵ツアーもある。これら両施設の店長村上ユリ氏は、福岡出身で単身小国町に赴任している。明るいキャラクターが地元客を引き付けている。

小国町産業振興課職員とゲーニーグループ石井代表とが全国地域商社協議会で出会ったことが縁になったとのことである。今後町のコミュニティ施設と



して期待したいが、筆者が見たところ稼働率も充分とは言えず、町の会議室で使う、町が営業活動を行う等々の町の更なる支援が必要と考えられる。

(以上)

SAKURAGAWA KAMOS'Quare
 サクラガワカモスクエア

写真は YOIDOKO I のイメージです。

2023年4月23日(日)オープン



YOIDOKO

滞在 研修 宿泊

WHY? YOIDOKO... 酔い、育、良い、善い、好い、夜寝、という意味、想いを込めて名前が決まりました。

ここでは桜川酒造母屋の一室。
 醸される時間をお愉しみください。
 発酵して醸造されるように時が流れます。

YOIDOKO I ●●

～座敷での体験・研修・滞在～



ヨイドコ1号

桜川酒造横 座敷(小坂町・桜川酒造 隣)
 体験/研修(～6時間/1日滞在/1週間滞在)
 1日・限定1組2名まで

YOIDOKO II ●●●

～シェア畑、レンタル観光農園も実施中～



ヨイドコ2号

シェアハウス(小国町)
 ショートステイから長期滞在まで。安心のシェアハウス
 ※シェア畑、レンタル観光農園も実施中。

YOIDOKO I (桜川酒造 隣) ※カモスク受付	一般価格 (税込)	会員制 成人価格 (税込)	利用期間	YOIDOKO II (小国町) ※カモスク受付	一般価格 (税込)	会員制 成人価格 (税込)	利用期間
① 6時間滞在コース ※カモスク1時間利用可 ※2時間毎は3,000円	5,500円	550円	カモスク 営業日	① 1日滞在/時間滞在コース ※1日滞在:カモスク1日利用可 ※水道・光熱費は含まれる。 ※アメニティ、布団などは付属	3,300円	1,100円	カモスク 営業日 ※要確認
② 1日滞在コース ※12時 in ~ 翌朝11時 out ※カモスク1日利用可	11,000円	1,100円	夏季期間のみ 5月～10月	② 1ヶ月滞在コース※日割り可 ※基本滞在:カモスク1ヶ月利用可 ※管理費+共益費込 ※アメニティ、布団などは持込	夏季期間 44,000円 冬季期間 55,000円	夏季期間 11,000円 冬季期間 22,000円	年中OK 夏季:5月～10月 冬季:11月～4月
③ 1週間 醸造コース ※12時 in ~ 7日 11時 out ※カモスク7日利用可	55,000円	5,500円	夏季期間のみ 5月～10月	③ 6ヶ月間滞在コース ※基本滞在:カモスク1年利用可 ※管理費+共益費込 ※アメニティ、布団などは持込	夏季期間 220,000円 冬季期間 330,000円	夏季期間 66,000円 冬季期間 132,000円	年中OK 夏季:5月～10月 冬季:11月～4月

ヨイドコに関するお問合せ: iide360.092@yokamosquare.jp 電話: 070-3300-1175 WEB: <https://yokamosquare.jp>

YOIDOKO（滞在・体験・研修施設）の料金表

YOIDOKO I (桜川酒造 様) ※カモスク受付	一般価格 (税込)	蔵人価格 (税込)	利用期間
①6時間滞在コース ※宿泊費 カモスク1時間利用可 ※2時間毎は3,000円	5,500円	550円	カモスク 営業日
②1日滞在コース ※12時in～翌朝11時out ※宿泊有:カモスク1日利用可 ※朝食付き:要予約	11,000円	1,100円 ※朝食代	夏季期間 5月～10月
③1週間醸造コース ※12時in～7日後11時out ※宿泊有:カモスク7日利用可 ※朝食付き:要予約	55,000円	7,700円 ※朝食代	夏季期間 5月～10月

YOIDOKO II (宮の台) ※カモスク受付	一般価格 (税込)	蔵人価格 (税込)	利用期間
①1日滞在時間滞在コース ※1日滞在:カモスク1日利用可 ※水道光熱費は含まれる。 ※アメニティ、布団等は付属。	3,300円	1,100円	カモスク営 業日
②1か月滞在コース ※日割可 ※基本滞在:カモスク1月利用可 ※管理費+共益費 ※冬季(1)内 ※アメニティ、布団等は持込	33,000円 11,000円 (22,000円)	11,000円	年中OK
③6か月間滞在コース ※基本滞在:カモスク1年利用可 ※管理費+共益費 ※冬季(1)内 ※アメニティ、布団等は持込	220,000円 330,000円	66,000円 132,000円	年中OK 05月～10月 11月～04月

遠く方への試みの先駆け

16

《桜川酒造 事業概要とヨカモスとの連携体制》



20



Comely
 到着を3分前
 合宿所
 創成塾(町)
 町や合宿所

小口
 片側から
 (向かい側)
 ↓
 橋下

17:11:10.17:11

マス
 カモスクエア
 square



「醸す場」である。
 これがサクラガワカモスクエアに存在する
 別の時間軸を過ごしてきた者達が「問い」を交わす。
 見えてくる情景や物語にある。
 旅の醍醐味は環境や景色が変わる事で
 仕事や生き方まで変える事が出来る。
 また訪れたいと思う。そんな場所があれば、

私達が交わり、人生を醸す場

2年号
 町12071710
 327-71241
 12月
 10月
 町↑町
 ↓
 2222 町
 町12071710
 12月

Comely

トビ

Comely

合宿所

酒蔵カフェ&飯豊山麓コワーキングスペース

KAMOS"Q"

人と交わる、町とつながる、関係案内所“カモスク”。

地元の人々と皆様が関わることで、新しいコトやモノが生まれるような場所、それが「サクラガワカモスクエア」内の《カモスク》。ここをベースに「働く」・「食す」・「学ぶ」をテーマに醸すワーケーションを体感してください。そして飯豊山麓暮らしを共に楽しみましょう。



2階までの酒造石蔵をリノベーション。Wi-Fiや電源はもちろん、オンライン会議用の個室スペースも備わっていますので、テレワークスペースとしてご利用ください。



人生を働くサポート！石狩発地

会員専用ワークスペースの2階は21席が常設されています。イベントや会合での貸切利用や配信機材やタブレットなどレンタル可能です。



食ひんまを醸そう！SHO SUZUKI

1階に24席、桜川酒造の酒粕を使った料理、発酵スイーツなどを提供致します。酒蔵であることを生かして、発酵食に触れられる機会も提供します。



本から醸す学びを、店主・井上マサキ

1階には「BOOKマンション」という一箱店主（オーナー制）が提供する本が集まっています。施設ご利用者は閲覧、購入も可能。本屋の無い町から新しい「本屋さん」を目指します。※詳しくはスタッフまでお尋ねください。

無料

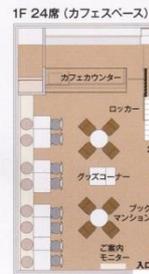
- 2Fのみ
- 高速 Wifi 6
- 電源
- ホワイトボード 壁面固定式
- ONLINE ミーティングルーム

有料

ご利用の際、お声がけください

- ロッカー
- プリンター 複合機
- 配信機材
- タブレット端末

一般ご利用価格 (1Fのみ) with 1drink ※2杯目からは有料
1時間・500円 (最大2時間1,000円) **1日券・1,000円** ※入退出可能
 ※入退出不可、再入場の場合はご利用時間に関わらず別途利用料がかかります





GREAT LANDSCAPE

飯豊山麓。母なる森林に醸される時間。

飯豊・朝日両連峰に抱かれた約737平方キロメートルという広大な小国町。その約90%には、ブナなどを中心とした広葉樹の森が広がり美しい四季の移ろいを見せてくれます。また、全国有数の豪雪地帯であり、降り積もった雪が多様な生命を育む源泉となることで豊かな食をはじめとした数々の文化が醸されています。



この町を象徴する白肌のブナの木と雪。この2つに共通する「白」をイメージカラーに、町全体を「白い森」と表現しています。

GATE WAY KAMOS "Q"

地域と人、人と人が交差する場。



ワクワクを感じられるようなイベントや体験プログラムを紹介し、地域と人、人と人の交わりと新たな「関係値」「問い」を創出します。一人でも多くの人の人生がカモスクで醸されるように。



おぐにマルチワーク
事業協同組合
代表理事・事務局長
吉田 悠斗 さん



魅力いっぱいの マルチワークを共に。

小国町に4年前に移住、農業やマタギ、日本酒作りに興味があります。小国町外からきた人と小国町内にいる人をコーディネートしていきたいです。どんどん交流していけるように手伝っていきたくと思っています。



メガネ屋
OPT タカハシ 店主
高橋 泰弘 さん

持続可能な暮らしと 地域との関わりを。

小国町で生まれ育ち、再エネフェスなどイベントを主宰し、国際交流にも力を注いでます。小国で好きな場所は「黒沢峠の敷石道」です。

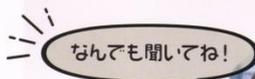


刺繍作家Kukka
小国町移住者コミュニティ
つむぐ代表
舟山 康名 さん

人つむぎ、 幸せな町、小国から。

この町だからできるチャンスがたくさんあります。自然と共に、自分らしく、暮らせる場所が小国町です。

新しい出会いや、学びの探求・自分探し・移住・遊びや息抜きなど。様々な可能性をカモスクは応援します！



繋がるは楽しい!を伝える
NIPPON TABERU TIMES
代表 田丸さくら さん



ワーケーションのその先を少しかんがえてみましょう。

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 移住にかかる費用は？ | 住居はすぐ見つかるの？ | 買い物するところは？ |
| 生活費はどのくらい？ | 支援制度は何があるの？ | 通勤や通学事情は？ |
| 車がないと無理？ | 医療環境はどう？ | 子育てサポートはあるの？ |

人生を醸す、人マップ。

飯豊山麓小国町ならではの文化に触れる。
 マルチワークを実践してきた地域事業者の方々から学ぶ。
 あなたの人生を醸す出会いを、豊かさにつながるきっかけを。
 この人マップがもたらす事を願っています。



- | | | |
|---|--|--|
| 働く。 | 食す。 | 学ぶ。 |
| 酒造
農業
マタギ
マルチワーク
エネルギー
テレワーク | 酒・発酵食
米 穀
シビエ
地産地消
きのこ類
珈琲・薬草 | お酒との
付き合い方
ブランド米
伝統工芸
トリリンガル
森林セラピー
ブック
マシジョン |

酒蔵カフェ&飯豊山麓ワーキングスペース“カモスク”



カモスクに関するお問合せ
 iide360.092@yokamosquare.jp
 TEL: 070-3300-1175
 [カモスクまでのアクセス]
 JR新潟駅~JR小国駅まで約120分【電車】
 JR米沢駅~JR小国駅まで約 80分【電車】
 JR小国駅~カモスクまで約 9分【徒歩】
 新潟空港~カモスクまで約 90分【車】



<https://yokamosquare.jp/>

実施・運営：一般社団法人YOKAMOS 〒999-1363 山形県西置賜郡小国町小国小坂町213
 協賛・協働：グーニーズグループ、bizcafe、SNOW JEWELS、桜川酒造、
 SUZU GROUP、Bouffier White Label、NIPPON TABERU TIMES
 ※カモスクをはじめとした事業・サービスは、YOKAMOSの職人の協賛・協働により成立しています。

Produced by GOODNEEDS GROUP

YOKAMOS™ ~ 発酵のチカラで世を醸す構想 ~

SAKURAGAWA KAMOSQ ware エリア
サクラガワカモスクエア

【飯豊山麓の関係案内所】 カモスク KAMOSQ™ (ワーキングカフェ) 2022年・3月オープン 	【醸す×木との対話】 イキヌキ I KI NU KI (発酵サウナ) 2023年・夏予定 	【醸す×大人の時間】 ヌカドコ NU KA DO KO (宿泊施設) 2023年・秋予定
【商品】 YOKAMOSの「ニゴリユ」 YOKAMOSの「醸する珈琲」 	【サービス】 YOKAMOSの「マタギ」 YOKAMOSの「体感プログラム」 	



SAKURAGAWA KAMOS'Q JAPAN
サクラガワカモスクエア

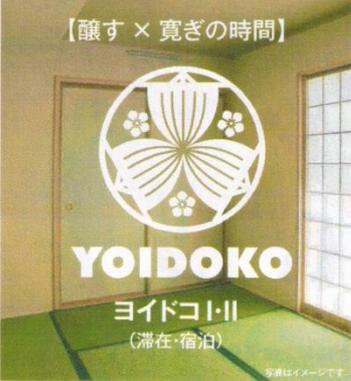
駆け出しの私達を支えてくれた皆様
ありがとうございます。

発酵のチカラで、世を醸す

YOKAMOS 設立2周年
カモスク 設立1周年

1年間で延べ2,000人の方にご利用頂きました。

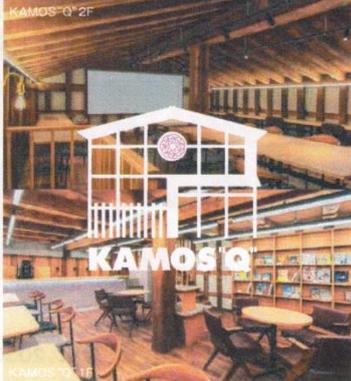
【醸す × 寛ぎの時間】



YOIDOKO
ヨイドコ I・II
(滞在・宿泊)



NIIGATA HAKKO CURRY



KAMOS'Q 2F
KAMOS'Q 1F

応募はこちら



YOKAMOS
YAMAGATA JAPAN
Thank you

感謝祭のご案内
4月23日(日) @カモスク®

11:30 カモスク オープン(特別に無料開放)
13:30 トークセッション(無料)
15:00 酒蔵 見学(おひとり様1,000円)
16:00 懇親会(おひとり様1,500円、お酒は別途)
18:00 終了



YOIDOKO

サクラガワカモスクエア 構想



酒蔵カフェ
&コワーキングスペース
カモスク®KAMOS'Q®



酒造：新生 桜川酒造
2023年2月・再出発



滞在・宿泊：ヨイドコ I・II
2023年4月・オープン



発酵サウナ：イキヌキ
2024年・夏予定

カモスク®に関するお問合せ : iide360.092@yokamosquare.jp WEB : <https://yokamosquare.jp>

